

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

2 項 児童福祉費

子ども発達支援室（内線：7865）→事業実施：子ども発達支援課

1 目 児童福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
子どもの心の診療拠点病院機構推進事業	17,228	16,044	1,184	8,614			8,614	
トータルコスト	21,262千円（前年度20,187千円）〔正職員：0.5人〕							
主な業務内容	拠点病院との調整、ネットワーク構築の取組支援、児童福祉施設との調整、国協議							
工程表の政策目標（指標）	個々のニーズ、ライフステージに合わせて支援が得られる地域の実現							

事業内容の説明

1 事業の目的

子どもが抱える心の問題について、医学的知見を踏まえた医療・福祉・保健・教育の連携による支援体制を構築するため、平成20年10月に本県の「子どもの心の診療拠点病院」として位置付けた鳥取大学医学部附属病院と共同で事業実施する。

2 事業の内容

（単位：千円）

事業名	予算額	事業内容	財源内訳
①子どもの心の診療支援（連携）事業（一部鳥大へ委託）	12,116	○医療機関と地域の保健福祉教育等関係機関等の支援ネットワーク構築会議の開催 ○児童福祉施設等の困難事例への拠点病院医師による医療的支援（カンファレンス）、臨床心理士による施設支援の実施	国 1/2 県 1/2
②子どもの心の診療関係者研修事業（鳥大へ委託）	3,561	○地域医療従事者（医師、看護師等）の発達障がい等に係る専門性の維持、向上のための研修の実施 ○地域の核となる保健師、保育士への子どもの心に関する研修の実施	国 1/2 県 1/2
③普及啓発・情報提供事業（鳥大へ委託）	1,551	○子どもの心に関して医療的見地からの理解、普及啓発を図るフォーラムの開催 ○ホームページやリーフレット作成による発達障がいに関する正しい知識・理解の普及啓発	国 1/2 県 1/2
合 計	17,228		

3 これまでの取組状況、改善点

医療・福祉・保健・教育の連携による支援体制を構築するため、支援ネットワーク会議を開催することで、児童相談所定例事例研究会に拠点病院医師が参加するなど、既存のネットワークとの連携が進んだ。

現在、子どもの心の課題に対応できる県内の医療機関の情報を集約するため、医療支援マップを現在作成中。医療・福祉・保健・教育の連携によるネットワーク整備に活用する予定。また、保健師、保育士のための指導用小冊子、保護者向けの子どもの心の理解のためのリーフレットを作成する。